

平成 28 年度
社会福祉法人 鈴鹿福社会

事業報告書

(自) 平成 28 年 4 月 1 日

(至) 平成 29 年 3 月 31 日



1. 事業基本理念に基づく社会福祉事業・公益事業の経営

経営理念

私たちは、地域に信頼されるべき存在であり続けます

行動指針 「気持ちをかたちに」

～こころづかいを地域のみなさまに～ ～思いやりを地域のみなさまに～

行動方針 「スタッフひとりひとりが「新たな目標」に向かい、チャレンジしていきます。」

2. 法人の概要・事業報告

設立	平成 4 年 4 月 9 日				
住所	鈴鹿市深溝町字北林 2956 番地				
電話	059-374-4600				
FAX	059-374-4543				
E-mail	suzugu@mecha.ne.jp				
URL	https://suzuka-greenhome.jp				
平成 28 年度 事業計画目標	「地域のみなさまが望む生活を全力でサポートする」				
事業報告	<p>【法人】 (事業の進捗状況を【○((概ね)できた)】・【△(課題が残った)】・【×(あまりできなかった)】で自己評価しています。)</p> <p>1.法人運営</p> <p>【○】①理事会、評議員会の開催(評議員選任解任委員会開催を含む) 計 7 回開催</p> <p style="padding-left: 20px;">定款の規定に基づき、予算、決算、事業計画・事業報告、規定の改正等の議題や報告事項について、適正な審議等を行いました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%;">(ア)平成 28 年 5 月 24 日開催</td> <td>・評議員会:評議員 13 名、施設長出席</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成 28 年 5 月 26 日開催</td> <td>・理事会:理事 6 名、監事 2 名出席、外部監査機関:税理士法人日本経営担当者 1 名出席</td> </tr> </table>	(ア)平成 28 年 5 月 24 日開催	・評議員会:評議員 13 名、施設長出席	平成 28 年 5 月 26 日開催	・理事会:理事 6 名、監事 2 名出席、外部監査機関:税理士法人日本経営担当者 1 名出席
(ア)平成 28 年 5 月 24 日開催	・評議員会:評議員 13 名、施設長出席				
平成 28 年 5 月 26 日開催	・理事会:理事 6 名、監事 2 名出席、外部監査機関:税理士法人日本経営担当者 1 名出席				

(イ)平成 28 年 11 月 22 日開催 平成 28 年 11 月 24 日開催	・評議員会:評議員 12 名、施設長出席 ・理事会:理事 6 名、監事 2 名出席
(ウ)平成 29 年 2 月 3 日開催	・評議員選任解任委員会:委員 3 名、理事長、施設長出席
(エ)平成 29 年 3 月 21 日開催 平成 29 年 3 月 22 日開催	・評議員会:評議員 13 名、施設長出席 ・理事会:理事 5 名、監事 2 名、理事候補者 1 名出席

【○】②監事監査、内部経理・予算監査の実施(5月) **各 1 回実施**

(ア) 監事監査	平成 28 年 5 月 18 日実施
(イ) 内部経理・予算監査	平成 28 年 5 月 16 日実施

【○】③外部経理監査の実施(毎月) **計 12 回実施**

税理士法人日本経営による外部経理監査の実施し、透明性が確保された適切な会計処理を行いました。

・平成 28 年 4 月 6 日、5 月 10 日、6 月 7 日、7 月 5 日、8 月 4 日、9 月 13 日、10 月 4 日、11 月 11 日、12 月 13 日、平成 29 年 1 月 17 日、2 月 13 日、3 月 10 日

【○】④みえ福祉第三者評価の受審

施設のレベルはどれくらいなのかを知るために今回受審しました。日々のわたしたちの取り組みについて高評価をいただいている点が多くあり、恐縮する思いですが、まだまだ気づいていない点や行き届いていない点があることを新たに発見することができました。今回の改善計画書では、達成目標や改善スケジュールをより具体的に設定しました。計画書に従い、速やかに改善を図っていきたいと思います。経営理念「私たちは、地域に信頼されるべき存在であり続けます」のもと、より質の高い、よりみなさまに愛される施設になることができるよう引き続き取り組んでいきます。

平成 28 年 8 月 4 日	自己評価リーダー研修会参加(2 名)
平成 28 年 9 月 9 日	第 1 回自己評価委員会開催
平成 28 年 10 月 1 日	対象事業所の全職員に対して受審に関する説明を開始
平成 28 年 10 月 6 日	第 2 回自己評価委員会開催/第三者評価機関より内容説明
平成 28 年 10 月下旬～12 月中旬	利用者、家族アンケート配布・回収
平成 28 年 11 月 11 日	第 3 回自己評価委員会開催
平成 28 年 12 月 13 日	第 4 回自己評価委員会開催

平成 29 年 2 月 2 日	<p>第三者評価機関訪問調査日</p> <p>・調査員からは、「食事の際に提供された料理だけでなく、自分持ちのカップラーメンをプラスして食べている方がいらっしゃったり、朝食がごはんとパンから選べたりして、入居者の意思に基づいて自由に食事ができる施設は稀である。」「職員のあいさつ等の接遇が大変よくできているとの高評価を得た。」「家族アンケートにおいて 100%の方が、接遇が「よい」と評価しており、このような施設は珍しいとの意見があり、接遇を徹底するための接遇マナー研修はどのように行っているのか。」という質問がありました。</p>
平成 29 年 2 月 28 日	<p>第 5 回自己評価委員会開催／評価機関との訪問調査結果・家族アンケート結果・職員アンケート結果報告及び自己評価シート・改善計画のすり合わせ</p>
平成 29 年 3 月 16 日	<p>第 6 回自己評価委員会開催 改善計画書作成</p> <p>☆改善計画書の概要</p> <p><u>施設として特に優れている点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営理念～私たちは、地域に信頼されるべき存在であり続けます～が、スタッフに浸透(91.2%)しており、100%を目指したい。 ・ご家族のスタッフのマナーに対する満足度が非常に高く(満足・やや満足:100%)、今後も継続していきたい。 ・ご入居者・ご家族の思いや生活スタイルを尊重した 24 時間シートを作成し、個別ケア・ユニットケアを行っている。 ・玄関に手洗い場を設置するなど、疾病対策と衛生管理を徹底している。 ・ホームページの「グリーンホームだより」の更新頻度が非常に高く、情報公開としてだけでなく、施設の日常の見える化を推進している。

	<ul style="list-style-type: none"> •介護ロボット、介護機器の導入やタブレットを用いた介護・看護記録など、より高いレベルにチャレンジする職場風土がある。 •地域の福祉ニーズに迅速に対応する・施設が持っている機能を地域に積極的に還元しようとする職場風土がある。 •サービスの質を良くしていくことに積極的に取り組む職場風土がある。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">改善を図る点・すぐにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> •経営理念の浸透をさらに図る必要がある。 •スタッフ間の確実な情報伝達とチームワークをさらに強化していく必要がある。 •ご家族に対して、ご入居者の日々の状況や施設の非常災害時の体制・防犯対策の取り組み状況などの情報をより細やかに発信していく必要がある。 •ご入居者の日中の過ごし方をもっと工夫していきたい。 •ご入居者が生活しやすい居室環境をつくる。 •キャリアパスシートに基づいた人材育成を行う。 •中期経営計画・事業計画について、もっとスタッフに理解を深めてほしい。 •実習生等の受け入れ時の体制の見直しと情報共有の徹底を行う。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">改善を図る点・工夫すればできること</p> <ul style="list-style-type: none"> •ご意見だけでなくスタッフに対するメッセージなどもいただけるようにして、ご家族からの意見の汲み取りと双方向のやり取りができる仕組みを作る。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">改善を図る点・予算化しないとできないこと</p> <ul style="list-style-type: none"> •下駄箱を改良する。
--	---

【○】⑥ホームページによる情報公表(財務諸表、事業計画・事業報告、監事監査結果、社会福祉法人現況報告、取組状況・アンケート結果・苦情要望結果等)

中身が見える法人を目指し、国が定めた公表すべき事項だけではなく、それ以外の事項についても積極的に公表を行いました。

県内だけでなく、県外・国外からのページビューもたくさんいただきました。

モバイル・タブレットユーザーの比率が高いため、平成 29 年 4 月 1 日からスマートフォンにも対応できるように改善をいたしました。またグリーンホームだよりの添付画質の解像度の向を図り、閲覧していただきやすいように改善いたしました。

☆平成 28 年度 1 年間のホームページの状況

項目	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
ユーザー数(ユーザー)	7,528	3,789	1,972
ページビュー数(ページビュー)	78,614	22,385	14,947
1 回当たりページビュー数(ページ)	5.05	3.03	2.92
1 日最高セッション数(回)	159	55	37
グリーンホームだよりの記事公開数(本)	337	264	184

※平成 29 年度は 100,000 ページビューを目指します。

【○】⑥事業計画作成検討会議の開催(12 月～3 月)

平成 28 年 12 月 20 日	事業計画たたき台概要の説明
平成 29 年 1 月 19 日	事業計画たたき台法人プレゼンテーションの実施
平成 29 年 2 月 20 日	各部署担当者からのプレゼンテーションの実施
平成 29 年 3 月 8 日	評議員会・理事会に提案する事業計画案の決定

【○】⑦その他

(ア) 社会保険労務士による経営労務管理改善

平成 29 年 1 月 6 日	第 1 回社会保険労務士訪問日(就業規則等の改正打合せ)
平成 29 年 2 月 7 日	第 2 回社会保険労務士訪問日(就業規則等の改正打合せ)

平成 29 年 3 月 10 日	第 3 回社会保険労務士訪問日(就業規則等の改正案決定・職員代表立ち合い)
平成 29 年 3 月 14 日 (27 日・28 日:ビデオによる説明会)	第 4 回社会保険労務士訪問日(職員向け説明会の開催)
平成 29 年 3 月 31 日	社会保険労務士より経営労務管理改善支援報告書を受理
その他	労務管理に関する相談をメールにて 10 回程度行い、都度指導いただいた。
成果物	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則改正(平成 29 年 3 月 30 日施行) ・職員給与規則改正(平成 29 年 3 月 30 日施行) ・育児・介護休業に関する規則改正(平成 29 年 3 月 30 日施行) ・人事考課関連規程改正(平成 29 年 3 月 30 日施行) ・職員説明会開催時資料

2.組織運営

【○】①月例会の開催(毎月)

【○】②幹部会議の開催(毎月)

【○】③連携会議の開催(毎月)

① 月例会	計 12 回開催、延べ 253 名出席 ・平成 28 年 4 月 1 日、5 月 2 日、6 月 1 日、7 月 1 日、8 月 1 日、9 月 1 日、10 月 1 日、11 月 1 日、12 月 1 日、平成 29 年 1 月 4 日、2 月 1 日、3 月 1 日
② 幹部会議	計 12 回開催、延べ 119 名出席 ・平成 28 年 4 月 20 日、5 月 20 日、6 月 22 日、7 月 20 日、8 月 20 日、9 月 20 日、10 月 20 日、11 月 19 日、12 月 20 日、平成 29 年 1 月 19 日、2 月 20 日、3 月 8 日
③ 連携会議	計 11 回開催、延べ 76 名出席 ・平成 28 年 4 月 5 日、5 月 13 日、6 月 1 日、7 月 6 日、8 月 3 日、9 月 7 日、10 月 5 日、11 月 2 日、12 月 7 日、平成 29 年 2 月 1 日、3 月 1 日

3.人財の確保・育成【最重要課題】

①目標:

「まなぶ風土」の醸成と「互いに努力を認め合える文化」の構築により、「働きがいのある魅力的な職場」形成と「豊かな人材」の育成を図ります。

②職員の資質向上(施設内外研修、新任職員研修)

多くの専門的な研修会等に参加(開催)し、個々のスタッフの目標に応じた学ぶ機会の提供とスキルアップにつなげることができました。日々の取り組みの成果についても研究大会で発表することができました。

【○】(ア)新任職員研修

- 採用時のしおりを日々改善し、新任職員に対して教育を行うことができました。
- 新任職員研修(平成 28 年 3 月 17 日～4 月 5 日)
- 中途採用職員研修(採用時)
- 育児休業復帰職員研修(平成 29 年 3 月 28 日)

【○】(イ)施設内研修会 計 48 回 延べ 497 名参加

平成 28 年 4 月 13 日	特養係「介護保険法」	10 名参加
平成 28 年 4 月 18 日	居宅介護支援「ケースファイルの開示」	6 名参加
平成 28 年 4 月 22 日	特養係「電子記録システム①」「介護記録の書き方①」「応急手当の実際」「症状の判断と適切な処置について」	10 名参加
平成 28 年 5 月 20 日	特養係「電子記録システム②」「介護記録の書き方②」「報告・連絡・相談」「24 時間シートの更新の仕方について」	12 名参加
平成 28 年 5 月 23 日	居宅介護支援「ケースファイルの開示」	6 名参加
平成 28 年 6 月 3 日	特養係「科学的介護(おむつゼロ)について」「介護計画立案」	10 名参加
平成 28 年 6 月 13 日	居宅介護支援「公的年金制度について」	6 名参加
平成 28 年 6 月 17 日	特養係「褥瘡予防①」「廃用症候群」「接遇マナー①」	9 名参加
平成 28 年 7 月 1 日	特養係「褥瘡予防②」	10 名参加
平成 28 年 7 月 11 日	居宅介護支援「ケトン体が人類を救う～糖質制限がなぜ健康になるのか～」	6 名参加
平成 28 年 7 月 15 日	特養係「褥瘡予防③」	11 名参加

平成 28 年 8 月 5 日	特養係「24 時間シートの一覧化」	10 名参加
平成 28 年 8 月 15 日	居宅介護支援「膠原病の症状～予備軍の初期症状とは～」	6 名参加
平成 28 年 8 月 19 日	特養係「看取りガイドライン」「モニタリング」	11 名参加
平成 28 年 9 月 2 日	特養係「介護プロフェッショナルキャリア段位レベル 2-①」	10 名参加
平成 28 年 9 月 12 日	居宅介護支援「高齢者の義歯管理と入れ歯安定剤の選び方」「口腔ケアステーション鈴鹿の関与事例」	6 名参加
平成 28 年 9 月 16 日	特養係「介護プロフェッショナルキャリア段位レベル 2-②」「口腔ケア」	10 名参加
平成 28 年 10 月 7 日	特養係「接遇マナー②」	9 名参加
平成 28 年 10 月 7 日	特養係「MMSE」「接遇マナー③」	10 名参加
平成 28 年 10 月 24 日	居宅介護支援「ケアマネジメントの適正化と質～課題総括表の活用と作成～」	6 名参加
平成 28 年 11 月 4 日	特養係「感染症」	9 名参加
平成 28 年 11 月 18 日	特養係「要介護認定」「大規模災害時の対応」「介護プロフェッショナルキャリア段位制度の概要」	11 名参加
平成 28 年 11 月 21 日	居宅介護支援「介護報酬算定等に当たっての具体的留意事項」	6 名参加
平成 28 年 12 月 1 日	全部署「安全運転セミナー」	29 名参加
平成 28 年 12 月 8 日	デイサービスセンター「感染症勉強会」	9 名参加
平成 28 年 12 月 8 日	サロン花葉「感染症対策勉強会」	3 名参加
平成 28 年 12 月 9 日	特養係「感染症の対応」「危機管理(離設)」	10 名参加
平成 28 年 12 月 14 日	デイサービスセンター「感染症」	3 名参加

平成 28 年 12 月 14 日	特養係「ユニットケアフォロ ーアップ施設内研修」	13 名参加
平成 28 年 12 月 19 日	居宅介護支援「ペースメー カー治療について」	6 名参加
平成 28 年 12 月 28 日	特養係「転倒事故」	10 名参加
平成 29 年 1 月 7 日	特養係「水分ケアと歩行訓 練による状態改善」「報告」	10 名参加
平成 29 年 1 月 17 日	居宅介護支援「呼吸と横隔 膜の働きについて」	6 名参加
平成 29 年 1 月 18 日	特養係「ユニットケアフォロ ーアップ施設内研修」	13 名参加
平成 29 年 1 月 20 日	特養係「平成 29 年度時宜 用計画部署内プレゼンテー ション」	9 名参加
平成 29 年 1 月 23 日	特養係・医務係「歯科衛生 士会口腔ケア講習」	14 名参加
平成 29 年 1 月 26 日	特養係「マッスルスーツ」体 験	8 名参加
平成 29 年 2 月 6 日	特養係「介護プロフェッショ ナルキャリア段位レベル 2」	11 名参加
平成 29 年 2 月 17 日	特養係「介護プロフェッショ ナルキャリア段位レベル 2- ②」「口腔ケア」「介護現場 の医学知識」「ストマ」「リフ ト浴」	11 名参加
平成 29 年 2 月 13 日	居宅介護支援「鈴鹿市の一 次予防事業と高齢者通報 体制整備事業の現状と今 後について」	6 名参加
平成 29 年 2 月 28 日	特養係「I-PAL 導入研修 会」	12 名参加
平成 29 年 3 月 3 日	特養係「床走行式リフト導 入研修会」	20 名参加
平成 29 年 3 月 6 日	居宅介護支援「ケースファ イルの開示」	6 名参加
平成 29 年 3 月 6 日	総務係「メンター研修会」	4 名参加
平成 29 年 3 月 9 日	特養係「リフト浴導入研修 会」	18 名参加
平成 29 年 3 月 14 日、 27 日、28 日	全部署「就業規則等説明 会」	63 名参加

平成 29 年 3 月 24 日	特養係「認知症ケア」「ケアと薬の改善」	9 名参加
平成 29 年 3 月 29 日、30 日	サロン花葉「安心安全に 5W1H とは」	3 名参加
【○】(ウ)施設外研修会 計 85 回 延べ 193 名参加		
平成 28 年 4 月 15 日	居宅介護支援「地域包括支援センター合同研修 介護保険の展望と法令順守に基づいた実地指導について」	4 名参加
平成 28 年 4 月 8 日	居宅介護支援「第 1 回鈴鹿市西部地域包括支援センター 地域ケア圏域会議」	1 名参加
平成 28 年 5 月 8 日	医務係「全国高齢者施設看護師研修会」	1 名参加
平成 28 年 5 月 18 日	サロン花葉「介護職員キャリアアップ研修 介護技術理論と実技」	1 名参加
平成 28 年 5 月 19 日	デイサービスセンター・サロン花葉「平成 28 年度鈴鹿市デイサービス事業所連絡協議会総会・記念講演会 地域医療と介護の連携について」	2 名参加
平成 28 年 5 月 19 日	居宅介護支援「平成 28 年度鈴鹿地区居宅介護支援事業所介護支援専門員連絡協議会総会・記念講演 検収の見直しの中で求められるケアマネジャー像について」	4 名参加
平成 28 年 5 月 17 日、24 日、29 日、6 月 7 日、8 日、7 月 5 日、6 日、8 月 16 日	「平成 28 年度主任介護支援専門員更新研修」	1 名参加
平成 28 年 5 月 24 日、～26 日、6 月 21 日、7 月 7 日、15 日、8 月 17 日	居宅介護支援「平成 28 年度介護支援専門員実務経験者更新研修(研修専門課程 I)」	1 名参加
平成 28 年 6 月 3 日	総務係・特養係「第 19 回国際福祉健康産業展」	2 名参加

平成 28 年 6 月 10 日	総務係「平成 28 年度三重県老人福祉施設協会総会・特別セミナー」	1 名参加
平成 28 年 6 月 15 日	サロン花葉「介護職員キャリアアップ研修 認知症の理解とケアの基本姿勢」	2 名参加
平成 28 年 6 月 20 日、21 日	総務係・特養係「東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会」	3 名参加
平成 28 年 6 月 20 日	総務係「衛生管理研修会」	1 名参加
平成 28 年 6 月 24 日	特養係「排せつケア研修会」	1 名参加
平成 28 年 6 月 24 日	特養係「平成 28 年度福祉用具セミナー」	1 名参加
平成 28 年 6 月 24 日	デイサービスセンター「安全運転管理者講習」	1 名参加
平成 28 年 6 月 24 日、27 日、29 日、7 月 1 日、4 日、7 日、8 日～8 月 4 日、12 日	デイサービスセンター「認知症介護実践者研修」	1 名参加
平成 28 年 6 月 28 日、29 日	総務係・居宅介護支援・デイサービスセンター・サロン花葉「平成 28 年度介護保険サービス事業者等集団指導」	4 名参加
平成 28 年 6 月 29 日	サロン花葉「在宅・医療ケア勉強会 食べる 部会報告」	1 名参加
平成 28 年 7 月 7 日	法人本部・総務係「みえぎん夏の懇親会」	2 名参加
平成 28 年 7 月 15 日、16 日	居宅介護支援「第 13 回高齢者虐待防止学会」	1 名参加
平成 28 年 7 月 20 日	居宅介護支援「平成 28 年度鈴鹿地区居宅介護支援事業所・介護支援専門員連絡協議会 第 1 回研修会 末期がん患者に共通してみられる経過」	3 名参加
平成 28 年 7 月 22 日	居宅介護支援「平成 28 年度地域包括支援センター職員課題別研修会」	2 名参加

平成 28 年 8 月 2 日	総務係「平成 28 年度社会福祉法人役員及び幹部職員研修会」	1 名参加
平成 28 年 8 月 4 日	特養係「みえ福祉第三者評価自己評価リーダー研修会」	2 名参加
平成 28 年 8 月 10 日	総務係・特養係「特別養護老人ホーム美里ヒルズ見学」	6 名参加
平成 28 年 8 月 20 日	居宅介護支援「平成 28 年度第 2 回地域ケア圏域会議」	2 名参加
平成 28 年 8 月 30 日	総務係・特養係・デイサービスセンター「人材育成に関する研修会 I」	3 名参加
平成 28 年 9 月 8 日	特養係「第 2 回鈴鹿市福祉施設連絡協議会」	1 名参加
平成 28 年 9 月 8 日	居宅介護支援「県立総合医療センター一般健康講座 脳梗塞！！なったらどうなる??」	2 名参加
平成 28 年 9 月 13 日	特養係・デイサービスセンター「介護プロフェッショナルキャリア段位評価者集合講習」	3 名参加
平成 28 年 9 月 14 日	居宅介護支援「平成 28 年度鈴鹿地区居宅介護支援事業所・介護支援専門員連絡協議会 第 2 回研修会 支援困難事例へのアプローチ」	4 名参加
平成 28 年 9 月 17 日	サロン花葉「デイサービスはらから 第 1 回運営推進会議」	1 名参加
平成 28 年 9 月 21 日	特養係・医務係「三重県老人福祉施設協会特養部会研修会」	5 名参加
平成 28 年 9 月 22 日、10 月 15 日、11 月 12 日、12 月 11 日	居宅介護支援「平成 28 年度介護支援専門員研修専門課程 II」	1 名参加
平成 28 年 9 月 28 日	特養係「ユニットケアフォローアップ研修」	1 名参加

平成 28 年 9 月 30 日、 10 月 1 日	デイサービスセンター「平成 28 年度喀痰吸引等指導者研修」	1 名参加
平成 28 年 10 月 12 日	居宅介護支援「鈴鹿市北西地区民生委員・児童委員協議会研修会 地域ケア会議と総合事業について」	1 名参加
平成 28 年 10 月 13 日	居宅介護支援「第 3 回鈴亀地区介護支援専門員協会事例研究会」	1 名参加
平成 28 年 10 月 13 日、14 日	総務係・特養係「東海北陸ブロックカンントリーリーミーティング」	3 名参加
平成 28 年 10 月 14 日	居宅介護支援・特養係・デイサービスセンター「ゴールドエイジ伊船見学」	9 名参加
平成 28 年 10 月 16 日、30 日、11 月 20 日、27 日	特養係「介護福祉士実習指導者講習会」	1 名参加
平成 28 年 10 月 21 日	総務係「社会福祉法改正に伴う実務対応セミナー」	1 名参加
平成 28 年 10 月 21 日	居宅介護支援「平成 28 年度三重県介護支援専門員協会鈴亀支部研修会 2018 次期改正で求められるケアマネジメント」	1 名参加
平成 28 年 10 月 25 日	居宅介護支援「鈴鹿市西部地域包括支援センター 地域ケア圏域会議」	2 名参加
平成 28 年 10 月 27 日	居宅介護支援「鈴亀地区居宅介護支援事業所・介護支援専門員連絡協議会 医療勉強会 循環器疾患について ロボットスーツの最新情報・新製品の運用方法」	2 名参加
平成 28 年 11 月 4 日	総務係・特養係・居宅介護支援「介護・福祉の将来を考えるまつり 特別講演会」	3 名参加
平成 28 年 11 月 7 日	特養係「秋季事業所一日消防訓練」	1 名参加

平成 28 年 11 月 10 日	総務係・特養係「鈴亀地区老人福祉施設協会施設職員研修会」	2 名参加
平成 28 年 11 月 10 日	居宅介護支援「三重県介護支援専門員協会鈴亀支部・津支部合同研修会 介護報酬算定に当たっての具体的留意事項」	2 名参加
平成 28 年 11 月 11 日	居宅介護支援「県立総合医療センター一般健康講座 本当に怖い肺疾患について」	1 名参加
平成 28 年 11 月 15 日、16 日	総務係・居宅介護支援「全国老人福祉施設大会」	2 名参加
平成 28 年 11 月 15 日	居宅介護支援「鈴鹿西部圏域ケアマネ支援会議」	1 名参加
平成 28 年 11 月 17 日、24 日、30 日、12 月 5 日、12 日、20 日、平成 29 年 1 月 12 日、19 日、26 日、2 月 16 日	特養係「喀痰吸引等研修」	1 名参加
平成 28 年 11 月 17 日	法人・総務係・居宅介護支援・デイサービスセンター「ポシブルイオン高の原店見学」	20 名参加
平成 28 年 11 月 18 日	居宅介護支援「みえ福祉用具フォーラム 2016」	1 名参加
平成 28 年 11 月 22 日	総務係「平成 28 年分年末調整等説明会」	1 名参加
平成 28 年 11 月 22 日	総務係・居宅介護支援「第 17 回在宅医療ケア勉強会 テーマ 食べる～部会報告その 2～」	5 名参加
平成 28 年 11 月 24 日	居宅介護支援「鈴亀地区居宅介護支援事業所・介護支援専門員連絡協議会 医療勉強会 心不全～その兆候、その見分け方～」	1 名参加
平成 28 年 11 月 26 日	居宅介護支援・デイサービスセンター・サロン花葉「第 30 回ニッセイ財団シンポジウム 高齢社会を共に生き	3 名参加

	る～認知症とその家族が安心して生活できるまちづくり～」	
平成 28 年 12 月 1 日	特養係「HAL®合同講習会」	2 名参加
平成 28 年 12 月 6 日	居宅介護支援「平成 28 年度介護認定調査員現任者研修会」	3 名参加
平成 28 年 12 月 7 日～9 日	ユニットリーダー研修会	1 名参加
平成 28 年 12 月 14 日	居宅介護支援・デイサービスセンター「鈴亀地区居宅介護支援事業所・介護支援専門員連絡協議会 第 3 回研修会 介護予防・日常生活支援総合事業について」	6 名参加
平成 28 年 12 月 18 日	居宅介護支援「平成 28 年度鈴鹿市権利擁護シンポジウム 一人ひとりが大切にされる地域づくりに向けて」	1 名参加
平成 28 年 12 月 20 日	デイサービスセンター・サロン花葉「介護予防・日常生活支援総合事業 事業所説明会」	2 名参加
平成 29 年 1 月 9 日	居宅介護支援「平成 28 年度介護支援専門員実務者研修現場実習にかかる受入事業所説明会」	1 名参加
平成 29 年 1 月 16 日	法人本部「みえぎん新春講演会」	1 名参加
平成 29 年 1 月 20 日、21 日	総務係「東海北陸ブロック老人福祉施設協議会 21 世紀委員会合同委員会」	1 名参加
平成 29 年 1 月 20 日	居宅介護支援「鈴亀地区居宅介護支援事業所・介護支援専門員連絡協議会 医療勉強会 肝疾患について」	1 名参加
平成 29 年 1 月 20 日	居宅介護支援「平成 28 年度神経・筋難病医療福祉従事者研修会 神経難病に	1 名参加

	ついて 在宅生活における リハビリテーション(摂食・ 嚥下)について」	
平成 29 年 1 月 27 日	居宅介護支援「第 1 回認知 症サポート医フォローアッ プ研修会」	3 名参加
平成 29 年 2 月 7 日	デイサービスセンター・サロ ン花葉「平成 29 年度介護 予防・日常生活支援総合事 業説明会」	2 名参加
平成 29 年 2 月 9 日	デイサービスセンター・サロ ン花葉「鈴鹿市デイサービ ス連絡協議会第 4 回研修 会 総合事業 通所型サ ービス説明会」	2 名参加
平成 29 年 2 月 11 日	居宅介護支援・特養係「鈴 鹿ロボケアセンター市民講 座 医療保険適用で加速 するサイバニック 治療機 器HALによる医療イノー ベーション」	4 名参加
平成 29 年 2 月 16 日	総務係「三重県老人福祉施 設協会 21 世紀委員会勉強 会」	1 名参加
平成 29 年 2 月 17 日	居宅介護支援「地域権利擁 護支援研修」	1 名参加
平成 29 年 2 月 18 日	総務係・居宅介護支援「シ ルバーフォーラムみえ」	2 名参加
平成 29 年 2 月 23 日	法人本部「社会福祉法人会 計実務者決算講座」	1 名参加
平成 29 年 2 月 23 日	居宅介護支援「第 18 回在 宅医療ケア勉強会 宗教 は臨床に役立つか？臨床 宗教師の誕生と可能性」	2 名参加
平成 29 年 3 月 13 日	総務係・居宅介護支援・特養 係・デイサービスセンター・ サロン花葉「ポシブルイオ ン高の原店見学」	11 名参加
平成 29 年 3 月 15 日	居宅介護支援「平成 28 年 度鈴亀地区居宅介護支援 事業所・介護支援専門員連	2 名参加

	絡協議会第4回研修会 関節リウマチと膠原病	
平成29年3月23日	居宅介護支援「鈴鹿亀山地区広域連合 地域包括支援先センター設立10周年記念講演 アクティブエンディング～家族で考える終活講座～」	1名参加
平成29年3月25日	サロン花葉「デイサービスはらから 第2回運営推進会議」	1名参加
平成29年3月30日	居宅介護支援・サロン花葉「鈴鹿市西部地域包括支援センター 地域ケア圏域会議」	2名参加

【○】③採用時教育の充実

・採用時のしおりを都度改善し、採用時教育の充実、内容の共有化、見える化を図りました。

採用方針:

・わたしたちと一緒に”鈴鹿グリーンホーム”をレベルアップしてくれる人

【○】④資格取得の推進

②「職員の資質向上(施設内外研修、新任職員研修)」をご参照ください。

【△】⑤人事考課制度・目標管理制度の充実

スタッフの日々の頑張りを公平に評価することができました。
課題としては、スタッフ個々が目指す目標や課題について、面談の機会をモチベーションやキャリアアップにもっと活かしていく必要があります。平成29年度に改善を図ってまいります。

(ア)上期	平成27年11月2日～平成28年5月1日
(イ)下期	平成28年5月2日～平成28年11月1日

【○】⑥労働条件の充実

「1. 法人運営 ⑧その他 (ア) 社会保険労務士による経営労務管理改善をご参照ください。」

【△】⑦労働安全衛生の推進

・安全衛生に関する基本方針:

「労働災害のない安全で健康に働くことができる快適な職場の実現を図る。」

・年間安全衛生及びメンタルヘルス目標、スローガン:

「”自分の職場は働きやすい環境” だと言える職場に」

【取組内容】

・リスクアセスメントについての情報発信

- ・作業環境(転倒危険等)についての検討・情報発信
- ・介護機器等の不具合及び危険箇所についての情報収集と改善
- ・車両運行にかかる勉強会の開催
- ・腰痛予防に資する介護機器・ロボットの導入推進

平成 28 年度は、降雪時の施設外道路歩行による転倒・けがが発生しました。降雪時の移動の注意点などについて、職員に周知し、再発防止に努めております。

また、フロアを掃除している際に腰を痛めた事例も発生しており、再発の防止を徹底してまいります。

介護ロボット・機器の利活用により、介護場面での腰痛の発生は **0 件** でした。

平成 28 年 8 月 27 日	全職員対象健康診断実施
平成 28 年 12 月 20 日	全国健康保険協会三重支部 施設内健康指導実施
平成 29 年 2 月 21 日	夜勤宿直者対象健康診断実施

4.事業所運営

【○】①介護予防通所介護の地域支援事業への移行

研修会・説明会に参加し、スムーズに地域支援事業に移行することができました。

【○】②サロン花葉 地域密着型への移行

研修会・説明会に参加し、スムーズに地域密着型事業に移行することができました。

【○】③地域ニーズを踏まえた施設整備の検討

理事会・評議員会・幹部会議等において、今後の地域ニーズを踏まえた未来型思考の施設・事業所運営の検討を行いました。

【○】④創立 23 周年記念行事の開催【入居者家族等との懇談を含む。】(平成 28 年 5 月 14 日(土))

ご入居者のご家族とがともに楽しい時間を共有することができる機会を提供できたと思います。今後はこの機会をスタッフとの意見交換の場としても活かしていきたいと思います。



【○】⑤敬老祝賀会の開催(平成 28 年 9 月 19 日(月))



前日からメニューが楽しみという方もいらっしゃり、敬老の日というハレの日に相応しいお食事が提供できたのではないかと思います。ますますのご長寿を各

ユニット・事業所においてお祝いすることができました。

【○】⑥**グリーン**の秋祭りの開催
(平成 28 年 10 月 10 日(月・体育
の日))

“ふれあいと信頼の向上、あの
懐かしいお祭りをもう一度”をコ
ンセプトに今年は 270 名を超え
る多くのみなさまにご参加をい



ただきました。当日は天候・気候もよく、多くの方が中庭で過ごさ
れていました。回を重ねるごとに地域の方の参加や協力も増え、
太鼓・バルーンアート・屋台・展示コーナーなども好評でした。

【○】⑦**クリスマス会**の開催【入居者家族等との懇談を含む。】(平成
28 年 12 月 17 日(土))



今回も多くのご家族にご参加
いただき、温かい雰囲気の中で
催し物やお食事を楽しんでいた
だくことができました。

【○】⑧**在宅サービス**家族等との懇談会・施設見学会等の開催(平成
28 年 10 月 10 日(月・体育の日))



グリーン**の秋まつり**
の開催前に、施設
からのご報告や導入
を予定している介護
ロボットのデモなど
により、ケアの内容
などをご理解いただくことができました。今後はより意見交換や
個別面談を行いやすいように時間設定や内容を工夫していきたい
と思います。

【概ね○】⑨**各事業**の自己評価

☆入居・滞在型サービス:「ユニットケアチェックリスト」(毎月)

ユニットケアの向上目指し、毎月ユニットケアチェックリストによ
り、自己評価を行いました。取り組みはまだまだですが、日に日に
進歩していることを実感しております。

☆入居・滞在型サービス:「自己評価表」(年 1 回)

☆在宅サービス:「自己評価表」(年1回)

三重県・市の指導監査、三重県の介護保険サービス事業者実地
指導においても、文書回答が必要な指導はありませんでした。部
署間の風通しも良く、スタッフも新しいことにチャレンジしていくと
いう姿勢が見られています。この状況に慢心せず、地域のみなさま
に信頼されるべき存在であり続けることができるよう日々努力
を重ねてまいりたいと思います。

【○】⑩消防訓練の実施、設備・機器等定期点検の実施等

計 31 回実施 延べ 20 名参加

平成 28 年 4 月 5 日	消防訓練の実施	8 名参加
平成 28 年 5 月 18 日	消防用設備等法定点検	
平成 28 年 7 月 5 日、6 日	居宅介護支援「甲種防火管理者講習」	1 名参加
平成 28 年 10 月 28 日	鈴鹿市消防本部立入検査	
平成 28 年 11 月 18 日	消防用設備等法定点検	
平成 28 年 12 月 7 日	防災確認研修の実 9 回施	5 名参加
平成 28 年 12 月 21 日	消防訓練の実施	6 名参加
毎月	昇降機点検(業者)	12 回実施
	消防用設備・施設・防火自主点検(防火管理者)	12 回実施

【○】地域の福祉施設との防災協定の締結

計 8 回 延べ 9 名参加

平成 28 年 5 月 19 日	「鈴亀地区老人福祉施設協会 第 1 回大規模災害検討部会」	1 名参加
平成 28 年 7 月 27 日、28 日	総務係「平成 28 年度鈴亀地区老人福祉施設協会県外研修会」	1 名参加
平成 28 年 9 月 2 日	総務係・特養係「鈴亀地区老人福祉施設協会 防災力強化研修会」	2 名参加
平成 28 年 9 月 29 日	総務係「鈴亀地区老人福祉施設協会 第 2 回災害対策検討部会」	1 名参加
平成 28 年 10 月 27 日	総務係「鈴亀地区老人福祉施設協会 第 3 回災害対策検討部会」	1 名参加
平成 28 年 11 月 4 日	総務係・特養係「防災対策研修会」	2 名参加
平成 28 年 11 月 25 日	総務係「鈴亀地区老人福祉施設協会 第 4 回災害対策検討部会」	1 名参加
平成 29 年 3 月 16 日	鈴亀地区老人福祉施設協会 相互防災協定 締結	

【○】⑪案内等広報活動

今後は、ご家族へのお手紙を活用し、より細やかなご案内ができるよう改善していきたいと思ひます。

特殊詐欺被害防止啓発	郵便局との連携により、「かもめーる」を用いて地域のみなさま
------------	-------------------------------

	に対して特殊詐欺の被害防止の啓発を行いました。
熱中症注意喚起	チラシの配布やホームページにより注意喚起を行いました。又送迎車両にスポーツ飲料を常備し、送迎の際にも配慮をするようにしました。
感染症(インフルエンザ・ノロウイルス)注意喚起	チラシ配布やホームページにより注意喚起を行いました。
食中毒注意喚起	ホームページにより注意喚起を行いました。

5.地域貢献活動の実施

【○】①低所得者に対する利用者負担額の軽減

社会福祉法人として、負担額の軽減が必要な方に対して、当該事業を実施いたしました。

【○】②地域高齢者介護予防事業(音楽を用いたレクリエーションケア等の実施)

毎週火曜日に施設で開催するだけでなく、地域からのご依頼に応じて主張音楽会を開催いたしました。(GAC鈴鹿第1ブロック・下大久保町・山辺町・山本町)

引き続き介護予防に資する事業の地域開催を進めてまいります。

【○】③車いす等無料貸出事業

制度の狭間でお困りの方について、車いす等の福祉用具を使用させていただくことができました。今後はアウトリーチ事業も含め、施設の資源を活用していただけるよう努めてまいります。

【○】④障がい者、就職困難者雇用創出事業

障がい者雇用については、法定雇用率を大きく上回る雇用を行いました。引き続き就職が困難な方の就労を支援に努めてまいります。

【○】⑤地域見守り活動(スクールサポーター)賛同事業

【○】⑥鈴鹿市徘徊高齢者等のための安心ネットワーク賛同事業

【○】⑦子どもを守る家賛同事業

趣旨に賛同し、1年間を通して協力を行いました。

【△】⑧無料介護相談事業

石薬師ふれ愛フェスティバルに参画し、栄養相談事業等を実施することができました。今後は専門職がさまざまな地域に出向き、地域のみなさまのお困りごと等についてご相談に応じたいと思います。

【○】⑨無料介護予防セミナー事業

地域における音楽を楽しむ会の実施と鈴鹿市西部地域包括支援センター主催の認知症サポーター養成講座に参画いたしました。



【○】⑩みえ福祉の「わ」創造事業

制度の狭間で救済されない方に対する生活困窮者支援緊急食料提供事業・緊急時物品等支援事業・生活困難者就労支援事業を実施するべく、事業の趣旨に賛同した三重県下の社会福祉法人で構成する当該事業に参画いたしました。

【○】⑪その他

平成 28 年 4 月 28 日	深伊沢地区社会福祉協議会総会
平成 28 年 5 月 17 日 ～20 日	鈴鹿市立鈴峰中学校職場体験学習受け入れ(生徒 3 名)
平成 28 年 8 月 8 日、9 日	鈴鹿市ワークキャンプ中学生の部受け入れ(鈴峰中学校生徒 3 名)
平成 28 年 8 月 19 日	鈴鹿市ワークキャンプ小学生の部受け入れ(鈴西小学校生徒 8 名)
平成 28 年 8 月 25 日	鈴鹿市ワークキャンプ小学生の部受け入れ(清和小学校生徒 3 名)
平成 29 年 2 月 22 日 ～24 日	平成 28 年度介護支援専門員実務者研修実習生受け入れ(1名)
平成 29 年 3 月 30 日	牧田地区地域ケア圏域会議への出席

3. 各社会福祉事業等の概要及び事業報告

 第一種社会福祉事業	
名 称	特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム (三重県指定 2470300274 号) 
所在地	鈴鹿市深溝町字北林 2956 番地
開設日	平成 5 年 5 月 1 日 (ユニット型 平成 26 年 5 月 1 日)
類 型	ユニット型※/特別養護老人ホーム ※10 名を 1 ユニット(生活単位)として、ユニット毎に居室、リビング、浴室、洗面、トイレなど、生活に必要な設備が適切な場所に配置されており、しつらえについても家庭的な雰囲気の中で介護サービスを利用することができます。ケアワーカーの配置をユニット毎に固定配置にすることで、顔なじみの関係の中でサービスを受けることができます。個別的なケアを行うためにケアワーカーは、入居者個々の 24 時間軸の生活リズムを把握します。
定 員	50 床(5 ユニット)
事業の概要	常に介護が必要で、ご自宅での生活が困難な方(原則、要介護 3~5 の方)に、ケアプラン(個別介護計画)に基づき、日常生活全般の支援を行う入居型サービス
ユニット型特別養護老人ホームの基本方針(特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準 第 33 条)	「入居者一人一人の意思及び人格を尊重し、入居者へのサービスの提供に関する計画に基づき、その居宅における生活への復帰を念頭に置いて、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援しなければならない。」
平成 28 年度事業計画目標	鈴鹿グリーンホームから発信!日本の”kaigo”をもっとよくしていこう!
事業報告	【特養係】 (事業の進捗状況を【○(概ね)できた)】【△(課題が残った)】【×(あまりできなかった)】で自己評価しています。) 1.ユニットケアチェックリストの全項目達成～自律支援 kaigo を目指して～ (1)ユニットリーダー (2)ケアワーカー 【○】①ユニットケア運営計画書の作成

【△】②チェックリストの項目について毎月一つ以上改善し、年度内に全項目を達成するようリーダーシップを発揮する。

※ユニットケアチェックリスト集計(特別養護老人ホーム全5ユニット/チェック項目は全53項目)

自己評価	平成28年度	平成27年度	平成26年度
○	211	186	123
△	44	68	84
×	10	11	58

まだまだ努力していく必要があります。

【○】③チェックリスト項目の意義や考え方・実施方法等についてケアワーカーへの指導・教育を行う。

定期的にユニット会議を開催することができました。

【○】④ユニットリーダー研修又はユニットケアの向上に資する研修会への参加し、しっかりとした知識と高い技術を身につける。スタッフへのフィードバックを行う。

スタッフ1名を研修に派遣し、ユニットメンバー等にフィードバックを行うことができました。

(3)生活相談員

【○】①ユニットケアチェックリストの意義や目的等についてスタッフへの浸透を図る。

【○】②幹部会議において、取り組みの進捗状況を報告する。

業務改善会議、幹部会議において浸透を図ったが、これからも継続していく必要があります。

(4)介護支援専門員

【△】24時間シート・電子記録システムのデータとリンクしたケアプランを作成する。

最新版に随時更新していますが、より細やかに作成していく必要があります。

2.介護プロフェッショナルキャリア段位レベル認定～職員個々のレベルアップを目指して～

【×】(1)介護プロフェッショナルキャリア段位アセッサー

(2)ユニットリーダー等

(3)ユニットリーダー、ケアワーカー

【△】①勉強会の開催

【×】②チャレンジするレベルに応じた要求事項を身につける。

評価に時間を要するため、できる限り評価するよう努めています。

3.ユニットリーダー会議・ユニット会議～現場力で支えるケアを～

(1) ユニットリーダー

【△】①ユニットケア会議の開催(毎月)

会議がより効果的なものになるよう改善が必要です。

【○】②業務改善会議(ユニットリーダー会議)の開催(毎月)

定期的に会議を開催することができました。

【×】③データ・根拠に基づいた課題の提出や改善提案を行う。

電子記録システムによる記録からすべてのデータ分析を行うまでにはまだ至っていません。蓄積されたデータをケアに反映することができるよう努めてまいります。

(2) ケアワーカー

【○】①ユニット会議への出席(毎月)

メンバーが全員揃うことは難しかったが開催することができました。

【×】②データ・根拠に基づいた課題の提出や改善提案を行う。

前記「3.-(1)-③」をご参照ください。

(3) 生活相談員、介護支援専門員

【○】①業務改善会議(ユニットリーダー会議)への出席

【○】②幹部会議において取組状況等の報告を行う。

4. ”5つのゼロと4つの自立支援”

【△】(1) ユニットリーダー

科学的介護・自立支援介護に関する研修会の受講しかりとした知識と高い技術を身につける。スタッフへのフィードバックを行う。

(2) 生活相談員

【×】①科学的介護・自立支援介護に関する研修会の受講しかりとした知識と高い技術を身につける。スタッフへのフィードバックを行う。

【×】②Kaigo のレベルアップを願い、取り組んだ成果を学会等で発表する。

ユニットリーダー2名が研究大会において発表いたしました。

〈5つのゼロ〉

【△】★おむつゼロ～日中おむつゼロへの挑戦～

電子記録システムにより、水分補給を把握することができたが、1日 1,500ml の摂取までは至らないケースがありました。他職種との連携や情報の共有はできました。ユニット会議において、内容はまだまだですが 24 時間シートの見直しを行うことができました。実践から布パンツの利用につながったケースもありましたが、取り組みの途中で、ご入居者の体調不良等により、当該取り組みの継続が難しくなったケースもありました。

【△】★骨折ゼロ～骨折ゼロへのリスクマネジメント～

会議等において、ケア方法の周知や多職種との連携を行うことができたが、自己行動内の転倒事故をゼロにするまでは至りませんでした。

【○】★胃ろうゼロ～口腔機能の正しい理解に基づく介護～
入口として、正しい口腔ケアへの理解を図るため、歯科衛生士による勉強会を開催し、スタッフが受講しました。

【○】★拘束ゼロ～科学的認知症ケアの確立～
1年を通して施設から身体拘束を行うことはありませんでした。身体拘束を廃止する風土が維持されています。

【○】★褥瘡(床ずれ)ゼロ～自立のためのリハビリテーション～
褥瘡を発生させない、発生しても軽減・治癒させるという風土があります。

〈4つの自立支援〉

【△】☆認知症ケア～認知症医療の進歩は着実！原因疾患別特徴を踏まえたケアを～

事業計画に位置付けた認知症ケアを行うことができた。認知症の疾患毎にアプローチを変えていくことが課題となっています。

【△】☆リハビリテーション～機能訓練は生活リハビリを中心に～廃用症候群対策を徹底～

より細やかなご入居者の要望に応じていく必要があります。リハビリテーションを行うスタッフの配置人数が課題となっています。

【△】☆口腔ケア～歯科専門職と介護スタッフとの連携・協働で～

定期的に歯科専門職と連携を図り、ケアを行っていく必要があります。

【○】☆看取りケア～地域社会のセーフティネットとして、安らかなラストステージを支える～

看取りのご要望に応えることができました。ユニット会議等で勉強会を開催する等、質を高める活動ができました。

【△】5.非常・災害対策～あらゆる場面を想定した安心のホームづくり～

消防訓練の他に BCP の説明や図上訓練、備蓄品の確認及び使用訓練、炊き出し訓練を実施しました。今後はより現実な訓練を実施する必要があります。

【○】6.みえ福祉第三者評価の受審～サービスの質を見える化～

サービスの質の評価に向けて、一丸となって取り組むことができました。次年度は改善計画書に位置付けた課題の改善に取り組んでまいります。

【△】7.地域貢献活動の推進～専門職の知識・技術を活かして～

専門職の知識を生かした地域貢献ができましたが、まだまだ行き届くような活動ができていません。今後は、啓発活動も含めた活動を進めていく必要があります。

【○】8.労働安全衛生の向上～介護機器・ロボットを活用して～

事業計画に位置付けた内容を実施することができました。労働安全衛生の向上に引き続き務めてまいります。

【○】9.ホームページによる情報発信～Kaigo 現場から地域のみなさまへ～

ユニットの状況を少しずつですが発信することができました。

【医務係】

(事業の進捗状況を【○】(概ね)できた)・【△】(課題が残った)・【×】(あまりできなかった)で自己評価しています。)

1.ユニットケアチェックリストの全項目達成～自律支援 kaigo を目指して～

(1)看護職員

医療に関わる項目について、入居者・利用者・スタッフを積極的にサポートする。

(2)機能訓練指導員

リハビリテーションに関わる項目について、入居者・利用者・スタッフを積極的にサポートする。

2.”5つのゼロと4つの自立支援”

〈5つのゼロ〉

【○】★おむつゼロ～日中おむつゼロへの挑戦～

水分摂取の向上に努め、対象者に試行することができました。

【×】★骨折ゼロ～骨折ゼロへのリスクマネジメント～

ヒヤリハット記録等により、情報共有はできているものの急な行動時の危険回避ができていませんでした。今後も起こりうる事柄であり、行動の把握に努める必要があります。

【○】★胃ろうゼロ～口腔機能の正しい理解に基づく介護～

1年目の取り組みとして、歯科衛生士の指導により口腔機能の正しい理解とケアの方法を学び、適切な口腔ケア、体調管理を概

ね行うことができました。その方に合った経口摂取を維持できました。

【○】★拘束ゼロ～科学的認知症ケアの確立～

水分摂取量の増加による覚醒状態の向上により、一定の成果がありました。掻痒感のある方への対応やより落ち着ける環境づくりが課題となっています。

【○】★褥瘡(床ずれ)ゼロ～自立のためのリハビリテーション～

ユニットになり、床ずれ発生が少なくなり、早期発見と改善を行えるようになりました。課題として、看取り時にも、より細やかなケアを行っていきたいです。

〈4つの自立支援〉

【○】☆認知症ケア～認知症医療の進歩は着実！原因疾患別特徴を踏まえたケアを～

落ち着いて過ごせる環境づくりに努めました。スタッフについても穏やかに接しております。

【○】☆リハビリテーション～機能訓練は生活リハビリを中心に～廃用症候群対策を徹底～

機能訓練計画に基づき、その方に合った生活リハビリを行うことができました。

【○】☆口腔ケア～歯科専門職と介護スタッフとの連携・協働で～

適切な口腔ケアにより、誤嚥性肺炎の罹患防止を図る三ことができました。今後の課題としては口腔内のマッサージを実施していきたいと思います。

【○】☆看取りケア～地域社会のセーフティネットとして、安らかなラストステージを支える～

ご入居者の状態把握、予測を行い、ご家族と丁寧且つ密な説明、相談を重ねながら意向確認を継続していきます。

主治医への状態報告、ご家族の移行も含めて連携を図ることができました。

情報共有が必要な事柄は、他職種と伝え違い、行き違いがないように努めました。

3.非常・災害対策～あらゆる場面を想定した安心のホームづくり～

「特養係 5.」をご参照ください。

4.みえ福祉第三者評価の受審～サービスの質を見える化～

「特養係 6.」をご参照ください。

5.地域貢献活動の推進～専門職の知識・技術を活かして～

「特養係 7.」をご参照ください。

6.労働安全衛生の向上～介護機器・ロボットを活用して～
「特養係 8.」をご参照ください。

7.ホームページによる情報発信～Kaigo 現場から地域のみなさまへ～
「特養係 9.」をご参照ください。

【調理部門】

(事業の進捗状況を【○((概ね)できた)】・【△(課題が残った)】・【×(あまりできなかった)】で自己評価しています。)

【○】1.ユニットケアチェックリストの全項目達成～自律支援kaigoを目指して～

食に関わる項目について、入居者・利用者・スタッフを積極的にサポートする。

個々のご利用者の嚥下状態、栄養状態、嗜好等に合わせた食事を提供することができました。

2.”5つのゼロと4つの自立支援”
〈5つのゼロ〉

【○】★おむつゼロ～日中おむつゼロへの挑戦～

食事の観察(ミールラウンド)、年間延べ213回の課題分析、計画作成、定期評価を行い、他職種と連携して取り組むことができました。

ご利用者2名に対して便秘症状改善のための乳果オリゴ糖摂取の試用を行いました。

★胃ろうゼロ～口腔機能の正しい理解に基づく介護～

【×】①嚥下に関する研修会を受講し、しっかりと知識と高い技術を身につける。

研修を受講することができませんでした。

【○】②食形態・食事内容の調整

多職種と連携し、必要に応じた調整を行うことができました。

【○】③調理部門との調整・給食会議の開催

給食会議:年12回開催

【○】④栄養アセスメントの実施

定期的にあセスメントを実施しました。

【○】⑤栄養マネジメントの実施

個々の利用者の計画期間に沿ったマネジメントを実施しました。

【○】⑥ミールラウンドの実施

定期的且つ必要な方に重点的に実施しました。

★褥瘡(床ずれ)ゼロ～自立のためのリハビリテーション～

【○】①アルブミン値等栄養状態・食事摂取状況の把握

定期的な血液検査結果による栄養状態の把握及び食事摂取状況、日々の体調の変化の確認を行いました。

【○】②栄養マネジメントの実施

「胃ろうゼロ⑥」をご参照ください。

〈4つの自立支援〉

【△】☆口腔ケア～歯科専門職と介護スタッフとの連携・協働で～

実践がまだまだ不十分と感じ、△いたしました。

3.非常・災害対策～あらゆる場面を想定した安心のホームづくり～

【○】①非常用備蓄食品使用マニュアルの改正

【○】②非常災害時提供献立の改正

【○】③非常用備蓄食品の更新

【○】4.みえ福祉第三者評価の受審～サービスの質を見える化～

「特養係 6.」をご参照ください。

【△】5.地域貢献活動の推進～専門職の知識・技術を活かして～

一次予防事業において栄養改善に資する料理作り、石薬師ふれ愛フェスティバルにおいて栄養相談を行いました。啓発活動についてまだまだ不十分と感じましたので、△いたしました。

【○】6.労働安全衛生の向上～介護機器・ロボットを活用して～

電子記録システムの活用によりね個々の身体状況や食事及び水分摂取状況をより細やかに把握できるようになりました。

【△】7.ホームページによる情報発信～Kaigo 現場から地域のみなさまへ～

ほぼ毎月5回以上の更新を行うことができましたが、4回の月もありましたので、△いたしました。

《平成 29 年 3 月 31 日現在の特別養護老人ホーム入居者の状況》

(1) 要介護度 (平均要介護度 3.92)

要介護 1	1 名
要介護 2	4 名
要介護 3	12 名
要介護 4	14 名
要介護 5	19 名

(2) 平均年齢 (男女平均 86.44 歳)

男性	82.00 歳 (13 名)
女性	88.00 歳 (37 名)
最年長	103 歳
最年少	90 歳

(3) 平均入居日数 1,219 日

(4) 自己負担割合

1 割負担	49 名
2 割負担	1 名
平均自己負担額 (30 日)	95,977 円

(5) 負担限度額認定


第 1 段階	1 名
第 2 段階	11 名
第 3 段階	25 名
第 4 段階	13 名

(6) 入居申込者数

男性	35 名
女性	65 名



第二種社会福祉事業

名 称	特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム 短期入所生活介護事業所 ／介護予防短期入所生活介護事業所 (三重県指定 2470300274 号)	
所在地	鈴鹿市深溝町字北林 2956 番地	
開設日	平成 5 年 5 月 1 日 (ユニット型 平成 26 年 5 月 1 日)	
類 型	ユニット型／老人短期入所事業	
定 員	30 床(3 ユニット)	
事業の概要	介護をしているご家族が、冠婚葬祭や病気・出産、休養や旅行等により、一時的にご自宅での介護が出来なくなったとき等において、ケアプラン(個別介護計画)に基づき、日常生活全般の支援を行う短期滞在型サービス	
短期入所生活介護の基本方針(指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準 第 120 条)(指定介護予防サービス等の人員、設備及び運営並びに指定介護予防に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準 第 152 条)	(要介護)利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、利用前の居宅における生活と利用中の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて利用者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援することにより、利用者の心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものでなければならない。 (要支援)利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、利用前の居宅における生活と利用中の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて利用者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援することにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものでなければならない。	
平成 28 年度事業計画目標	鈴鹿グリーンホームから発信!日本の”kaigo”をもっとよくしていこう!	
事業報告	(事業の進捗状況を【○((概ね)できた)】・【△(課題が残った)】・【×(あまりできなかった)】で自己評価しています。) 1.ユニットケアチェックリストの全項目達成～自律支援 kaigo を目指して～ (1)ユニットリーダー (2)ケアワーカー 【○】①ユニットケア運営計画書の作成 【△】②チェックリストの項目について毎月一つ以上改善し、年度内に全項目を達成するようリーダーシップを発揮する。	

※ユニットケアチェックリスト集計(ショートステイ全3ユニット/
チェック項目は全52項目)

改善は進みましたが、すべての項目を達成していません。

自己 評価	平成28年度	平成27年度	平成26年度
○	109	107	100
△	32	28	38
×	15	21	18

【○】③チェックリスト項目の意義や考え方・実施方法等についてケアワーカーへの指導・教育を行う。

月例開催の業務改善会議内で学びの場を設けました。各ユニット会議での伝達により教育を行いました。

【○】④ユニットリーダー研修又はユニットケアの向上に資する研修会への参加し、しっかりと知識と高い技術を身につける。スタッフへのフィードバックを行う。

「法人3-②-(イ)及び(ウ)」をご参照ください。

(3)生活相談員

【○】①ユニットケアチェックリストの意義や目的等についてスタッフへの浸透を図る。

月例の業務改善会議及びユニット会議において浸透を図りました。

【○】②幹部会議において、取り組みの進捗状況を報告する。

月例の幹部会議において報告を行いました。

【○】(4)介護支援専門員

電子記録システムの分析を行い、24時間シートの作成に反映することができました。短期入所介護計画の日課表としてご家族に配布することで、ケアの中身が見える化することができました。よりケアプランとリンクした24時間シートとなるよう改善中です。

2.介護プロフェッショナルキャリア段位レベル認定～職員個々のレベルアップを目指して～

【×】(1)介護プロフェッショナルキャリア段位アセッサー

評価に時間を要するため、できる限り評価するよう努めています。

【○】(2)ユニットリーダー等

アセッサー講習に1名受講しました。

(3)ユニットリーダー、ケアワーカー

【○】①勉強会の開催

平成28年11月18日	キャリア段位制度全体像の説明
平成28年12月9日	レベル2-①概要説明
平成28年12月23日	介護現場の転倒事故についての研修

平成 29 年 2 月 17 日	レベル 2-②概要説明、介護現場の医学的知識研修
平成 29 年 3 月 24 日	認知症ケア研修

【△】②チャレンジするレベルに応じた要求事項を身につける。

研修を行っていますが不十分と感じています。

3.ユニットリーダー会議・ユニット会議～現場力で支えるケアを～

(1)ユニットリーダー

【○】①ユニットケア会議の開催(毎月)

毎月2回(第2・4金曜日)開催

【○】②業務改善会議(ユニットリーダー会議)の開催(毎月)

毎月1回開催

【×】③データ・根拠に基づいた課題の提出や改善提案を行う。

あまり行うことができませんでした。

(2)ケアワーカー

【○】①ユニット会議への出席(毎月)

毎月、ケア方法等の決定、周知を行いました。

【×】②データ・根拠に基づいた課題の提出や改善提案を行う。

あまり行うことができませんでした。

(3)生活相談員、介護支援専門員

【○】①業務改善会議(ユニットリーダー会議)への出席

毎月出席し、指導及びアドバイスをを行いました。

【○】②幹部会議において取組状況等の報告を行う。

毎月出席し、報告を行いました。

4.”5つのゼロと4つの自立支援”

【△】(1)ユニットリーダー

業務改善会議において、伝達研修を行いました。発信や伝達がまだまだ弱いと感じています。

【△】(2)生活相談員

可能な限り伝達を行いました。まだまだ弱いと感じています。

〈5つのゼロ〉

【概ね○】★おむつゼロ～日中おむつゼロへの挑戦～

排泄リズムを把握し、おむつ使用現に取り組むことができました。限られた人員と時間の中で必要なケース且つ退院後の在宅復帰に向けた支援を重点的に実行しました。自宅等に復帰される方に対して一定の成果を得ることができました。ご家族や担当ケアマネジャーからは評価をいただくことができました。

排泄リズムの把握方法の機械化、ケアワーカーが主体となり、自立支援介護を行える環境づくり、水分摂取量の確保が課題となっています。

【概ね○】★骨折ゼロ～骨折ゼロへのリスクマネジメント～

24時間シートに記載を行い、転倒のないように支援を行いました。

ショートステイにおいても日常生活リハビリだけでなく、専門的リハビリテーションの機会を確保することが課題となっています。

【△】★胃ろうゼロ～口腔機能の正しい理解に基づく介護～

対象者は少ないですが、今後胃ろうに移行すると考えられる方はいるように感じています。口腔ケアに努めているがまだまだ不十分と感じています。

【○】★拘束ゼロ～科学的認知症ケアの確立～

身体拘束は0件でした。

【△】★褥瘡(床ずれ)ゼロ～自立のためのリハビリテーション～

褥瘡発生率はゼロではありませんが、予防・改善に努めています。

機能訓練指導員の加配が行えるかが課題となっています。

〈4つの自立支援〉

【○】☆認知症ケア～認知症医療の進歩は着実！原因疾患別特徴を踏まえたケアを～

「〈5つのゼロ〉★おむつゼロ～日中おむつゼロへの挑戦～」をご参照ください。

【△】☆リハビリテーション～機能訓練は生活リハビリを中心に～廃用症候群対策を徹底～

十分ではありませんが、可能な限り実施することができました。

【△】☆口腔ケア～歯科専門職と介護スタッフとの連携・協働で～

施設内口腔ケア勉強会に参加し、口腔ケアを実施することができました。定期的に歯科衛生士等の訪問・連携を行うことが課題です。

【○】☆看取りケア～地域社会のセーフティネットとして、安らかなラストステージを支える～

たんの吸引等研修会に1名受講しました。

事業所内でご家族の見守りの中、看取りを実施することもありました。ショートステイであっても日常生活の延長線上に「看取り」があると感じています。

【△】5.非常・災害対策～あらゆる場面を想定した安心のホームづくり～

防災計画変更や教育を実施した。実際の場面においてスタッフがより確実に行動できるようにさらに教育を徹底してまいります。

ご利用者自宅訪問時等に、ご家族に対して非常災害時の対応について確認を行っているが、まだまだ十分ではないと感じています。今後も継続していく必要があります。

【○】6.みえ福祉第三者評価の受審～サービスの質を見える化～

受審を終え、改善計画に定めた項目について改善していく必要があります。

【△】7.地域貢献活動の推進～専門職の知識・技術を活かして～

地域の生活困窮者等に対して貢献活動を行うことができましたが、さらに各専門職が活動を図っていく必要があります。

【○】8.労働安全衛生の向上～介護機器・ロボットを活用して～

介護機器・ロボットの利活用を継続していく必要があります。今後は「夜間の見守り」ロボット等の導入により、夜勤スタッフの負担軽減を図る必要があります。

【○】9.ホームページによる情報発信～Kaigo 現場から地域のみなさまへ～

事業所内のさまざまな事柄について情報発信できました。今後もアクティブな情報提供ツールとして活用していきたいと思えます。



第二種社会福祉事業

名 称	デイサービスセンター 鈴鹿グリーンホーム 通所介護事業所／介護予防通所介護事業所 (三重県指定第 2470300332 号)	
所在地	鈴鹿市深溝町字北林 2956 番地	
開設日	平成 5 年 10 月 1 日	
類 型	大規模型事業所Ⅱ／老人デイサービス事業	
定 員	55 名	
事業の概要	事業所の送迎により、日帰りでデイサービスセンターに通い、他のご利用者と一緒に、食事や入浴などの介護、リハビリテーション、レクリエーション、創作活動の支援などを行ないます。	
通所介護の基本方針(指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準 第 92 条)(指定介護予防サービス等の人員、設備及び運営並びに指定介護予防に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準 第 96 条)	<p>(要介護)利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものでなければならない。</p> <p>(要支援)利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものでなければならない。</p>	
平成 28 年度事業計画目標	「地域包括ケア」の構築に取り組む ～デイサービスの可能性の模索～	
事業報告	<p>(事業の進捗状況を・【△(課題が残った)】・【×(あまりできなかった)】で自己評価しています。)</p> <p>【○】1.在宅生活を継続するためのサービス提供</p> <p>①アセスメント(課題分析)の見直し</p> <p>②生活に着目したケアプラン(個別介護計画)への移行</p> <p>新規要介護認定、更新、区分変更時のサービス担当者会議に出席し、ご利用者の自宅での状況や課題について聞き取りを行いました。会議録を作成、アセスメントシートにも記載し、聞き取りを行った情報をケアカンファレンスにおいてスタッフに申し送ることで、ご利用者のニーズの共有を図ることができました。</p>	

ご利用者ごとに定められた評価期間で評価を実施し、介護認定有効期間の要介護認定更新時、中間、区分変更時に評価内容について、ご利用者、ご家族、ケアマネジャー等関係機関へ報告を行いました。

③生活機能に着目した個別機能訓練の実施

個別機能訓練計画書の作成について、前記同様、ご自宅を訪問したうえで、状況を確認し、生活機能の維持・向上に資する計画書作成し、実施いたしました。

ご自宅訪問件数:393 件(月平均 32.75 件)

④書類の整理

ご利用者の情報について聞き取りを行った内容をデータ入力。入力データをケアカンファレンスで印刷し、ケア統一ノートに貼付することで、スタッフへの周知を図りました。課題として、データをご利用者ごとに管理ができるよう検討中です。

⑤ダイルーム内の環境整備

フロア:利用者数に合わせて、テーブルやソファの配置補変更しました。

浴室:男性、女性の入れ替え方法を検討しました。

7 時間～9 時間利用の方の 15 時 30 分からの利用場所を工夫しました。

午前中に休みたい方に畳スペースを利用していただきました。

⑥人財育成のための取り組み

認知症介護実践者研修に 1 名受講しました。

介護プロフェッショナルキャリア段位評価者講習の受講

地域包括ケア(介護予防・日常生活支援総合事業)に関する説明会に参加しました。

次期介護保険制度改正に関する研修会については、開催がなかった不参加。

【○】2.コンプライアンスの徹底

①法令の確認

②日々のチェック

日々のサービス提供実績チェックによる加算の有無を確認しました。

加算要件のチェックと要件を満たしていなかった場合の介護報酬取り下げ再請求を実施しました。(※認知症加算)

勤務実績の確認による人員配置基準を確認しました。

個々のサービス内容については事業所内会議において確認しました。

③次期改正への情報収集

情報を基に今後を予測し、事業所運営体制の改善を検討中。

【○】3.危険意識を高める安全活動

介護事故報告、ヒヤリハット報告により、発生日にケアカンファレンスを開催し、一次対応の検討、週末に検討した内容について再検討を行い、最終対応を決定しました。

朝礼時に当日利用者について、報告が上がっている方の再確認月例の職員会議において、前々月、前月の報告書の確認と最終報告書を作成しました。

事業所内勉強会「感染症」を2回開催しました。

【○】4.ご利用者のニーズに沿ったアクティビティ(日中活動)の提供

アクティビティについて、月例会議を開催し、通所介護計画書の評価機関ごとに個々のご利用者について評価を行い、メニューへの反映やご利用者への関わり方、提供方法等についても評価を実施しました。

通所介護計画書の評価期間でアクティビティの内容について評価を実施しました。

地域のボランティア団体への来所依頼を行いました。

【○】5.鈴鹿市障がい者(児)日中一時支援事業の受託


受入実績:110回

【○】6.地域支援事業移行への準備

平成29年4月より、介護予防通所介護が介護予防・日常生活支援総合事業に移行することで、準備を行い、スムーズに移行ができるよう、調整中です。



第二種社会福祉事業

名 称	サロン花葉 (地域密着型通所介護事業所 ／介護予防通所介護事業所) (鈴鹿亀山地区広域連合指定 第 2470302205 号)	
所在地	鈴鹿市算所 5 丁目 3 番 12 号	
開設日	平成 23 年 4 月 1 日	
類 型	地域密着型事業所／老人デイサービス事業	
定 員	10 名	
事業の概要	事業所の送迎により、日帰りでデイサービスセンターに通い、他のご利用者と一緒に、食事や入浴などの介護、リハビリテーション、レクリエーション、創作活動の支援などを行ないます。	
地域密着型通所介護の基本方針 介護予防通所介護の基本方針(指定介護予防サービス等の人員、設備及び運営並びに指定介護予防に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準第 96 条)	(要介護)利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものでなければならない。 (要支援)利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものでなければならない。	
平成 28 年度事業計画目標	地域とつながり、誰でも利用できるサロンに	
事業報告	(事業の進捗状況を【○((概ね)できた)】・【△(課題が残った)】・【×(あまりできなかった)】で自己評価しています。) 1.地域密着型通所介護事業所へ 【○】①運営推進会議の開催について(概ね 6 月に 1 回開催) 平成 28 年 9 月 24 日 14 時～15 時 平成 29 年 3 月 18 日 14 時～15 時 延べ 10 名参加 【○】②関係事業所との情報収集 鈴鹿市西部地域包括支援センター、鈴鹿市デイサービス事業所連絡協議会 【○】③地域包括ケアシステム等、行政の動向等チェック 行政、鈴鹿市デイサービス事業所連絡協議会が開催する説	

明会に参加

2.事業所認知度の向上

【△】①居宅介護支援事業所への訪問 **計 15 件訪問**

【○】②広報活動 **グリーンホームだより計 19 回掲載**

【×】③みえ福祉第三者評価によるサービスの見える化
受審せず、視野に入れて考えていく。

【○】④交流会の開催 **延べ 15 名参加**

3.地域支援活動

【△】①近隣地区への出張サロン

【△】②地域への開放(地域のサロン活動を花葉で)

運営推進会議の開催、地域ケア圏域会議等への出席により、事業所コンセプトの説明や事業所の機能等について紹介を行った。

【○】③教育機関等との連携と受け入れ(ワークキャンプ・ボランティア・地区バザーへの出店)

鈴鹿市いきいきボランティア制度受け入れ事業所に登録。3名のボランティアの受け入れを行った。

鈴鹿市社会福祉協議会様主催のワークキャンプ小学生の部 3名の受け入れを行った。

4.人財育成

【○】①人事考課・目標管理制度を用いた指導

個々の目標達成に向かって、スタッフとともに考える時間をとることができた。

【○】②サロン内外の研修

「法人 3-②-(イ)」をご参照ください。

【○】③スキルアップに対する啓発活動

「法人 3-②-(ウ)」をご参照ください。

【△】④7S(整理・整頓・清潔・清掃・躰・指導・接遇)活動

整理整頓の意識が低かったと感じる。引き続き 7S に努める。

5.安心、安全に

【○】①介護事故防止、ヒヤリハットに対する取り組み

介護事故件数は 0 件で、安心・安全に運営できたが、ヒヤリハット事例について、発生日にミーティングを行った。

【○】②食中毒・感染症の発生防止

手洗い、うがいの励行、新人スタッフに指導を行った。

食中毒警報が発令された際に、注意すべき点について事業所内掲示を行った。

【○】③交通法規遵守と車両管理

交通安全週間など、スタッフに啓発。ドライブレコーダーを全車両に装備。



第二種社会福祉事業

名 称	在宅介護支援センター 鈴鹿グリーンホーム													
所在地	鈴鹿市深溝町字北林 2956 番地													
開設日	平成 10 年 4 月 1 日													
類 型	老人介護支援センター													
事業の概要	地域の高齢者の家庭内の事故等による通報に対応するとともに高齢者の方ならどなたでも参加できる介護予防教室を介護事業所や地域の公民館等で開催します。													
平成 28 年度 事業計画目標	地域支援事業における一次予防事業の実施 高齢者通報体制整備業務の実施													
事業及び施設 (老人福祉法第 20 条の 7 の 2)	地域の老人の福祉に関する各般の問題につき、老人、その者を現に養護する者、地域住民その他の者からの相談に応じ、必要な助言を行うとともに、主として居宅において介護を受ける老人又はその者を現に養護する者と市町村、老人居宅生活支援事業を行う者、老人福祉施設、医療施設、老人クラブその他老人の福祉を増進することを目的とする事業を行う者等との連絡調整その他の厚生労働省令で定める援助を総合的に行うことを目的とする。													
事業報告	<p>(事業の進捗状況を【○(概ね)できた)】・【△(課題が残った)】・【×(あまりできなかった)】で自己評価しています。)</p> <p>【○】1.鈴鹿市一次予防事業業務委託</p> <p>(1)目的:要介護状態の発生をできる限り防ぐ(遅らせる)。 地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。</p> <p>(2)目標:介護予防に資する自発的な活動が広く行われ、高齢者が自ら様々な活動に参加し、毎日をいきいきとお過ごしいただける健康づくりを行う。</p> <p>(3)対象:65 歳以上の鈴鹿市民</p> <p>(4)実施内容:</p> <p>①音楽を楽しむ会(毎週火曜日)</p> <p>②生きがい活動など(月 1 回程度)</p> <p>③出張音楽会の地域展開(関係機関の求めに応じて開催、各地域包括支援センターとの連携を検討)</p> <table border="1" data-bbox="507 1630 1334 1935"> <thead> <tr> <th>期</th> <th>内 容</th> <th>延べ参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第Ⅰ四半期(平成 28 年 4 月～6 月)</td> <td>音楽を楽しむ会 外出</td> <td>354 名</td> </tr> <tr> <td>第Ⅱ四半期(平成 28 年 7 月～9 月)</td> <td>音楽を楽しむ会 栄養改善等</td> <td>256 名</td> </tr> <tr> <td>第Ⅲ四半期(平成 28 年 10 月～12 月)</td> <td>音楽を楽しむ会</td> <td>317 名</td> </tr> </tbody> </table>		期	内 容	延べ参加者	第Ⅰ四半期(平成 28 年 4 月～6 月)	音楽を楽しむ会 外出	354 名	第Ⅱ四半期(平成 28 年 7 月～9 月)	音楽を楽しむ会 栄養改善等	256 名	第Ⅲ四半期(平成 28 年 10 月～12 月)	音楽を楽しむ会	317 名
期	内 容	延べ参加者												
第Ⅰ四半期(平成 28 年 4 月～6 月)	音楽を楽しむ会 外出	354 名												
第Ⅱ四半期(平成 28 年 7 月～9 月)	音楽を楽しむ会 栄養改善等	256 名												
第Ⅲ四半期(平成 28 年 10 月～12 月)	音楽を楽しむ会	317 名												

	(うち2回は西部地域包括支援センターに協力いただいた)外出等	
第Ⅳ四半期(平成29年1月～3月)	音楽を楽しむ会 外出	262名
計		1,548名

【○】2.鈴鹿市高齢者通報体制整備事業業務委託

(1)目的:見守り等の援助が必要な高齢者が自立した生活が遅れるよう365日、24時間の通報体制を整備し、必要に応じ、地域包括支援センター、鈴鹿市長寿社会課へつなげる等の高齢者の支援を行う。

(2)内容:受託者との間でケアプラン作成契約を交わしていない又はケアプラン作成契約を交わしているが、相談月においてサービス利用がない方に関する相談対応。地域包括支援センター又は鈴鹿市長寿社会課より訪問等の対応要請があった場合は適切な対応を行う。継続的な見守りも高齢者通報体制整備業務として対応を行う。365日・24時間通報を受けられる体制を整備する。虐待等の緊急対応が必要な場合は、速やかに地域包括支援センター又は鈴鹿市長寿社会課へ情報提供を行う。


期	人数
第Ⅰ四半期(平成28年4月～6月)	35名
第Ⅱ四半期(平成28年7月～9月)	25名
第Ⅲ四半期(平成28年10月～12月)	50名
第Ⅳ四半期(平成29年1月～3月)	27名
計	137名

【○】3.車いす等無料貸し出し事業の継続

貸出物品	人数	延べ日数
車いす・杖・シャワーチェア・ポータブルトイレ	15名	285日



公 益 事 業

名 称	在宅介護支援センター 鈴鹿グリーンホーム 居宅介護支援事業所 (三重県指定第 2470300258 号)	
所在地	鈴鹿市深溝町字北林 2956 番地	
開設日	平成 11 年 9 月 10 日	
類 型	居宅介護支援事業	
事業の概要	ご利用者の心身の状況やご家族のご希望に沿ったケアプラン(個別介護計画)の作成、サービス事業者への連絡調整や利用の手配、介護保険給付管理、介護に関する生活相談などを行ないます。	
居宅介護支援の基本方針 (指定居宅介護支援等の事業の人員、設備及び運営に関する基準 第 1 条)	<p>利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮して行われるものでなければならない。</p> <p>利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行われるものでなければならない。</p> <p>指定居宅介護支援の提供に当たっては、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、利用者に提供される指定居宅サービス等が特定の種類又は特定の居宅サービス事業者に不当に偏ることがないように、公正中立に行わなければならない。</p> <p>事業の運営に当たっては、市町村、法第 115 条の 46 第 1 項に規定する地域包括支援センター、老人福祉法第 20 条 7 の 2 に規定する老人介護センター、他の指定居宅介護支援事業者、指定介護予防支援事業者、介護保険施設等との連携に努めなければならない。</p>	
平成 27 年度 事業計画目標	地域連携の輪を広げよう！ ～鈴鹿グリーンホーム ケアマネの底力！～	
事業報告	<p>(事業の進捗状況を【○(概ね)できた)】・【△(課題が残った)】・【×(あまりできなかった)】で自己評価しています。)</p> <p>1. 特定事業所としての安心感 ～スタッフ全員で地域を支える～</p> <p>【○】①利用者のモニタリング活動と介護サービス事業所との連携強化</p> <p>【○】②利用者に対するこれまで以上の公平公正な地域の社会資源や介護サービス事業所の情報提供</p>	

毎月担当ケアマネジャーによる居宅モニタリング訪問の実施、
又毎月利用事業所への提供票持参等の各サービス事業所への
訪問を実施しました。

社会資源ファイルの拡充に努め、書面を活用した利用者に適し
た公平公正な介護サービス事業所の情報提供につなげました。

【○】③定期運営会議・事業所内研修の継続、各種外部研修会への
参加(特に医療面を中心とする)、地域ケア会議やケアプラン点
検・各種ケース検討会への事例提供など協力推進

「法人事業報告 3. ②」をご参照ください。

【○】④困難ケースへの対応と、地域とのつながりを意識した連携
推進・強化

西部地域包括支援センターをはじめ、鈴鹿市長寿社会課や鈴鹿
亀山地区広域連合の求めに応じ、いわゆる困難ケースへの関
与・対応を行いました。

【○】⑤研修内での各担当ケースの開示及び定期的な担当ケース
への同行訪問・困難ケースに対する複数ケアマネジャーの関与

同行ケアマネジャー	延べ件数
5名	27件

【○】⑥人事考課による自己覚知と資質の向上

【○】⑦和顔愛語の実践

人事考課制度の面談の機会を活用し、各自の年間目標の設定や
振り返りによる自己覚知と資質の向上につなげました。また職
員間の交流を図り、ストレスを抱え込み過ぎず、常に相互で話し
合い、指摘し合える関係の維持・向上に努めました。

【○】2.介護保険制度に対応する

～変化する制度への順応とアカウントビリティの実践～

① 鈴鹿市の日常生活支援総合事業構築に伴う変更点の周知徹底
と利用者・家族への説明

② 平成 27 年 4 月介護保険制度改正に伴う変更点の説明(継続事
項)

総合事業に関しては、昨秋からの研修会・説明会への参加に加
え、鈴鹿亀山地区広域連合や地域包括支援センターへの積極的
な質問や確認を通じ、情報収集を行うとともに、当該利用者・家
族への説明に努めました。

その他制度改正に伴う説明についても必要に応じ居宅訪問等
を通じ行っております。

【○】3.地域貢献活動の推進

～社会福祉法人として、地域に安心感をお届けする活動
の実践から

① 一次予防事業と連動したハイリスク高齢者へのアプローチ

「在宅介護支援センター事業報告 1. 2.」をご参照ください。

- ② 鈴鹿市長寿社会課・鈴鹿亀山地区広域連合・鈴鹿市西部地域包括支援センター・地域の民生児童委員・他事業所との連携
1-④で挙げた困難事例での連携に加え、民生児童委員協議会や地域ケア圏域会議への出席など、各関係機関の求めに応じ連携を図りました。
- ③ 地域の中の各種社会資源の情報収集及び連携強化
新規開設事業所内覧会への参加による情報収集や必要に応じたパンフレットの等の取り寄せにより、社会資源ファイルの拡充と利用者への適切な情報提供を行いました。また必要に応じ連携を図り利用に向けた支援を行いました。
- ④ 医療機関との連携
利用者の入退院時の情報共有や連携、ケアプランの主治医への提出と意見確認等を通じ、近隣医療機関と適宜連携を図りました。また研修についても医療機関主催のものを意識して参加しました。
- ⑤ 地域内の他居宅介護支援事業所との連携
会議への出席を通じ、情報交換や不明な点の確認・業務内容の相互の助言など連携を行いました。
- ⑥ 車いす等の無料貸し出し事業の継続
「在宅介護支援センター事業報告 3.」をご参照ください。
- ⑦ 徘徊高齢者等の安心ネットワーク活動への協力
法人として徘徊高齢者等の安心ネットワークに登録し、届いた搜索依頼情報を事業所内で共有することで、訪問など地域を移動する際に意識して不明者がいないかの搜索活動に協力いたしました。また担当する利用者で徘徊リスクの高い方に対しては、制度について情報提供を行いました。
- ⑧ 認知症啓発活動への取り組み
昨年度取得した認知症キャラバンメイトの知識を活かし、西部地域包括支援センターが主催する認知症サポーター養成講座への支援という形で協力いたしました。

【○】4.ホームページによる情報発信 ～地域のみなさまに情報をお届け～

利用者に有用・必要な情報の発信

食中毒・熱中症・インフルエンザ・ノロウイルス等季節に応じた各種注意喚起をホームページ上に掲載するとともに、自宅訪問時にパンフレットを配布いたしました。

その他、地域のみなさまに有用と思われるような情報発信にも努めました。